

# 動物実験に関する自己点検・評価報告書

国立障害者リハビリテーションセンター研究所

平成29年3月

## 1. 規程及び体制等の整備状況

### (1) 内部規程の整備状況について

#### ① 評価結果

- 基本指針に適合する内部規程が定められている。
- 内部規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 内部規程が定められていない。

#### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験委員会規則
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則に基づいた標準業務手順書

#### ③ 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・ 基本指針に基づき内部規程が定められている。
- ・ 平成27年2月に受審した外部評価で指摘のあった事項については改善済である。

#### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

### (2) 動物実験委員会

#### ① 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

#### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験委員会規則

#### ③ 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・ 基本指針に基づき動物実験委員会が設置されている。

#### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

### (3) 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

#### ① 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

#### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験委員会規則
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則

#### ③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 基本指針に基づき、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている

#### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

### (4) 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制がさだめられているか?)

#### ① 評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

#### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験委員会規則
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則に基づいた標準業務手順書
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所遺伝子組換え実験安全管理規程
- ・ 遺伝子組換え実験安全委員会規則

#### ③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 安全管理に注意を要する動物実験に関する規程が定められ、実施体制が整備されている。

④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

(5) 実験動物の飼養保管の体制

(研究所内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

① 評価結果

- 基本指針に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則

③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 実験動物を飼養する施設（動物実験室）が把握され、実験動物の適正な飼養管理を行う動物実験室管理責任者が置かれている。

④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

(6) その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取組み及びその点検・評価結果)

- ・ 平成27年2月12日に動物実験実施施設の外部評価を受審し、「適合」の評価を得ている。(当該「動物実験に関する評価結果報告書」を公開済)

## 2. 実施状況

### (1) 動物実験委員会

(動物実験委員会は、内部規程に定めた機能を果たしているか?)

① 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験委員会規則
- ・ 動物実験委員会議事要旨

③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 委員会規則に基づき適正に審査が行われ、委員会の役割を十分果たしている。

④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

### (2) 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

① 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

② 自己点検の対象とした資料

- ・ 動物実験委員会議事要旨 ・ 動物実験審査申請書 ・ 動物実験研究計画書
- ・ 研究実施状況報告書 ・ 動物実験終了・中止報告書 ・ 動物実験室利用届
- ・ 入室・退室記録簿
- ・ 新規動物搬入届 ・ 実験動物移動許可申請書 ・ 実験動物特別飼育申請書
- ・ 休日等における動物実験室使用届 ・ 動物管理等台帳

③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 基本指針に適合し、適正に動物実験が行われている。

④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

### (3) 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

#### ① 評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

#### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 動物実験委員会議事要旨
- ・ 動物実験審査申請書
- ・ 動物実験研究計画書
- ・ 研究実施状況報告書
- ・ 動物実験終了・中止報告書

#### ③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 動物実験委員会規則や動物実験室運用細則に則して、安全に動物実験が実施されている。

#### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

### (4) 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

#### ① 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則に基づいた標準業務手順書
- ・ 動物実験室利用届 ・ 入室・退室記録簿
- ・ 新規動物搬入届 ・ 実験動物移動許可申請書 ・ 実験動物特別飼育申請書
- ・ 休日等における動物実験室使用届 ・ 動物管理等台帳

#### ③ 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・ 運用細則に則して適正に実施されている。

#### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

## (5) 施設等の維持管理の状況

(研究所内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

### ① 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験室運用細則

### ③ 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・ 指針に則り適正に維持管理されている。

### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

## (6) 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

### ① 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### ② 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- ・ 教育訓練用教材「動物実験の実践倫理」（公益社団法人 日本実験動物学会 Web 公開版）
- ・ 動物実験講習会資料（平成 28 年 6 月 29 日開催講習会資料）

### ③ 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- ・ 指針に基づき例年実施している動物実験従事者講習会（平成 28 年 6 月 29 日開催）に加え、平成 29 年 2 月 9 日並びに 3 月 2 日の 2 回にわたり、外部講師による『生命医科学研究に関する動物実験研修会』を開催し、動物実験管理者、実施者、飼育者等に対する教育訓練の充実を図った。

### ④ 改善の方針

- ・ 該当なし。

## (7) 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

### ① 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

### ② 自己点検の対象とした資料

- 国立障害者リハビリテーションセンター研究所動物実験に関する指針
- 自己点検・評価報告書

### ③ 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

- 平成25年度分以降、当センターホームページ上にて情報公開を行っている。

### ④ 改善の方針

該当なし

## (8) その他

(動物実験の実施状況において、研究所特有の点検・評価事項及びその結果)

- 特になし。